ことば



令和８年２月
舞鶴市立余内小学校
通級指導教室　75-0379



季節に親しもう



１月の指導始めには、３学期の目当てを担当者と決め、新たにスタートしました。また、冬休みにしたことをカードやすごろくで交流したり、十二支のカードで今年の干支を確認し唱えたりしました。十二支の話題では、



「猫はねずみにだまされて、十二支に入れなかったって本で見た！」と言う子。「私は、酉年で、お母さんは丑年や。」と言う子など、自分の知っていることと繋げた会話が広がりました。

また、コマやお手玉、めんこ、羽子板などのお正月や冬にまつわる昔遊びにもふれました。特に人気だったのは、初めてした子も多かった「羽子板」です。羽が板に当たる時の「コン！」「コン！」という音が実に気持ちよく、続いた時には友達と「５回続いた！」と大喜びし何度も挑戦する姿がありました。よく見て体を調整しながら友達と息を合わせて取り組めるのは、デジタルにはないアナログの遊びのよさですね。



日本ならではの素晴らしい四季を感じながら、季節と共に楽しく豊かに過ごすよさを季語や食べ物、遊びにふれながら感じてほしいなと思います。





- ２日（月）教育長との懇談会
- ６日（金）初回相談
- ９日（月）中学校通級指導教室説明会
- 13日（金）初回相談
- 16日（月）余内小学校が、振替休業日のため指導はありません。
- 17日（火）出張のため、指導はありません。
- 19日（木）舞鶴市教育相談



保護者学習会のご案内

日時：令和８年２月９日（月）10:00～11:00
会場：明倫小学校（４階視聴覚室）
※通級指導教室の玄関からお入りください。
★締め切りは過ぎましたが、参加を希望される方は、通級指導教室までご連絡ください。

学年・学級閉鎖になった場合



在籍校で学年・学級閉鎖になった場合、お子さんが元気でも流行の拡大を防ぐために、指導はお休みになります。その場合は必ず通級指導教室までご連絡ください。

体調不良や都合等で欠席される場合も、必ずご連絡をよろしくお願いします。

気象警報が出ている場合



（大雨警報・大雪警報・暴風警報・暴風雪警報）

4つの警報のうち1つでも発令されて臨時休校などになった場合、通級指導教室もお休みになります。

午前11時までに警報が解除された場合は、午後の指導を行います。

『なわとびにチャレンジ！』

先日、通級になわとびを持参して来た子どもがいました。「体育で最初に縄跳びをするから。」とのこと。たしかにこの時期、体育や学校の取組で縄跳びをすることが多いです。ねばり強く練習を続けることで上手に跳べるようになり、「なわとびチャレンジカード」に色を塗る。記録も伸びて、さらに練習を続けたくなる…そんないきいきとした子どもの様子が見られます。

しかし、中には「上手に跳べない。」「いくらやってもできない。」「どうやったら跳べるのか分からない。」という悩みを抱えている子どもも少なくありません。

なわとびには、自分の手足と縄の位置関係をイメージする力が必要となります。身体のイメージを持つためには、狭いところをくぐる、遊具に登ったりジャンプで降りたりする。ブランコに乗るなど、全身を使った活動が「なわとびのための土台づくり」になります。





なわとびの動きには、ジャンプをしたり、縄を回したりするので、手や足を上手に動かすことが必要です。そのためには、身体の中心部である体幹をしっかりして、バランス感覚を養うことが重要です。また、両手両足のタイミングを揃えることも大切です。作業療法士の笹田哲さんは、なわとびのポイントとして、「背筋を伸ばして立つ」「なわは手首の返しで回す」「つま先に体重をかける」の３点を挙げています。

手首の動きを養うために、タオルを使った練習があります。脇をしめて、手にタオルを持ち、手首を使って回します。タオルの先を固結びしておくと遠心力がつき、回しやすくなります。



姿勢は、背中が丸まっていたり、頭が下を向いていたりしないようにします。

足の裏を使ってジャンプをすると、足首やひざに負担がかかり、とび続けづらくなるので、つま先でとびます。

そのほかにも、縄跳びには様々な苦手さがあります。

・うまく縄を回せない

→縄の中心部分で固結びをつくると、真ん中が重くなり、遠心力が働いて、縄を回しやすくなります。

・縄のタイミングがうまくいかない

→床に置いた縄を両足で跳び越える。できたら、大人が動かす棒を両足で跳び越える。というふうに少しずつできる経験を増やしていきます。

「できた！」という体験は、子どもの大きな自信に繋がります。大人側もあせらず、楽しみながら関わりたいものです。

参考文献：笹田哲『体の動き指導アラカルト』中央法規 2012 年